

■事例紹介

外ヶ浜町上小国地区 ビオトープ池での釣り大会

令和5年7月30日（日）に外ヶ浜町上小国地区のビオトープ池で、鯉釣り大会が開催され、13名の児童生徒らとその保護者や、地域活動に協賛する消防団員など計47名が参加しました。

このビオトープ池は、平成20年から平成24年にかけて実施された県営上小国地区経営体育成基盤整備事業を機に、地域住民が自然環境とふれあう場を提供することを目的として、未利用だったため池を活用して整備されたもので、昨年引き続き釣り大会のイベントを開催しました。

ビオトープ池に到着後、参加者は、安全に釣りをするための説明を受けたあと、ライフジャケットを着て各自釣り竿を手に、池の周りへ向かいました。



【開始時刻まで日陰で待機する参加者】



【釣り大会前の様子「頑張るぞ〜！」】



【釣り大会の様子】

池周囲の転落防止柵は中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）により県が提供した資材を使用して、上小国地区環境公共推進協議会により設置されました。

開始の合図とともに、参加者は一斉に釣り糸を池へ垂らしました。

しかし、当日の最高気温は 31.8 度で水温も高く、鯉も暑さに負けたのか、餌に食いつかず、なかなか釣れない時間が続きました。

そんな中、ようやく鯉を釣ることができると、大きな歓声が沸き起こりました。



【鯉を釣り上げる様子】



【釣れた鯉】

最終的に、3名の児童生徒らが鯉を釣ることができました。

閉会式では、参加した児童生徒ら全員に賞状と景品のおかしが手渡されました。

そのあと、全員が上小国会館で昼食のカレーライスを食べました。昼食は地域の方々による手作りで、地元で収穫された食材も使用されているとのことでした。



【昼食会場の様子】

今回のイベントは参加者が生き物とふれあう貴重な機会となったのではないのでしょうか。参加した皆様、お疲れ様でした。

(県では令和5年度、ふる水基金により、上小国地区環境公共推進協議会が池周辺水路に設置する転落防止柵の材料や野外学習で使用するタープテント等を提供しました。)